

DIATONE

DA-PX1

DIGITAL PROCESS CENTER

 三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)  
N871L67763 09/04

# デジタルプロセスセンター

## DA-PX1 取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

「取扱説明書」はお読みになったあと、「保証書」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。


## 免責事項について

- ・ 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報（プリセットなど）が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。
- ・ 仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造等は出来かねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のものです。実際のものとは異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・ 商品に添付の保証書は当該製品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）へ使用した場合、適用対象にはなりません。
- ・ 本製品は国内専用です。海外では使用できません。

## 使用上のご注意

- ・ 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になるおそれがあります。
- ・ 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ 分解したり改造したりしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- ・ 操作するときは、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- ・ エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動が出来ないおそれがあります。かならずエンジンをかけた状態で使用してください。
- ・ 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。
  - 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
  - 寒冷時など、画面が暗くなったり、赤みがかかる。また、画面の動きが遅い。
  - 画面を見る角度によって、色あいや明るさに違いがある。
- ・ 画面の汚れを取るときは、柔らかい布で拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つけるおそれがあります。
- ・ リモコンを放置しないでください。リモコンがブレーキペダルの下などに入り込み思わぬ事故につながる恐れがあります。

## 商標について

- ・  **DOLBY**  
DIGITAL | ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。  
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- ・  **dts**  
Digital Surround | 米国特許 5451942 号、5956674 号、5974380 号、5978762 号、及び 6487535 号、または、米国及びその他の国での登録済み特許または特許申請中の実施権に基づき製造されています。「DTS」、「DTS Digital Surround」は、DTS,Inc. の登録商標です。  
DTS ロゴとシンボルは、DTS,Inc. の商標です。© 1996-2008 DTS,Inc. 不許複製。
- ・ Microsoft、WindowsMedia、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ 製品名等の固有名称は各社の商標または登録商標です。

## お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。



**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



**警告**

### 運転者は運転中に、画像を注視しない。

前方不注意となり事故の原因となります。  
道路交通法により、運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。

※リモコンで操作する場合も、画面を注視しないでください。



禁止

### 運転者は走行中に複雑な操作をしない。

運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



禁止

### 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない。

事故、火災、感電の原因となります。



禁止

### 本機を分解したり、改造しない。

故障、火災、感電の原因となります。



分解禁止

### 本機は DC12V マイナス ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車での使用はしない。

火災や故障の原因となります。



禁止

### 機器内部に水や異物を入れない。

発煙、発火、感電、故障の原因となります



禁止

万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起これば、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店か弊社代理店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。



必ず行う

### リモコンを放置しない。

停車したときやカーブを曲がる時に、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。



禁止

### ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



必ず行う

## ⚠ 注意

### 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



注意

### 本機に汗、アルコール、ワックス、その他の異物・液体が付着したら直ちに拭き取る。

異物・液体が長時間高温下で付着したまま放置すると外観に色変化、ムラを生じさせる場合があります。



必ず行う

### 本機をできるだけ直接日光下に放置しない。

本機は高級感あるアルミにアルマイト仕上げを施しています。アルマイト仕上げは太陽光で退色する特性があり、長期間本来の美しさを保つにはできるだけ直射日光を避けてご使用ください。



注意

## 乾電池に関するご注意

### ⚠ 警告

#### 事故防止のため、乾電池は乳幼児の手の届かないところに保管する。

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。



必ず行う

### ⚠ 注意

#### 乾電池を機器内に挿入する場合は、極性⊕・⊖に注意し、表示通りに入れる。

乾電池の極性を間違えると破裂、液もれにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



必ず行う

#### 乾電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れてはいけない。

乾電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

#### 乾電池は充電しない。

乾電池の破裂により、けがの原因となることがあります。



禁止

#### 乾電池の液もれにより溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときはきれいな水で洗った後ただちに医師の治療を受ける。



必ず行う

#### 乾電池を廃棄する場合は

不要になった乾電池は、各自治体の指示に従い廃棄してください。



必ず行う

## DIATONE DA-PX1

### デジタルプロセスセンターとは

- ・ DIATONE オリジナル高音質技術を搭載した D/A コンバーターにデジタルプロセッサ機能、リニア PCM メモリープレイヤーを内蔵

### 豊富な入力系統、フォーマットに対応

- ・ USB : 2系統 リニア PCM(WAV) / 圧縮 (MP3、WMA、AAC)
- ・ Digital : 5系統 (オプティカル3系統、4Pin 車載用オプティカル 1 系統、コアキシャル 1 系統)
- ・ Analog : 2系統 (コアキシャル 1 系統、スピーカーライン入力 1 系統)

### 6つの DIATONE オリジナルの高音質技術

#### 「高音質 DA 変換技術」

- ・ 32Bit アドバンスド・ピュアバリアブルカレント・DA コンバーター
- ・ ピュアデジタル・アイソレーター
- ・ リアルタイムコレクター & メモリータイムコレクター

#### 「高精度デジタル信号処理技術」

- ・ アジャスタブル FIR グラフィックイコライザー
- ・ リアル・ビット

#### 「高音質機器間信号伝送技術」

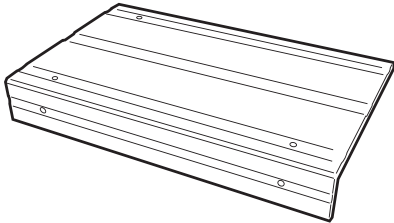
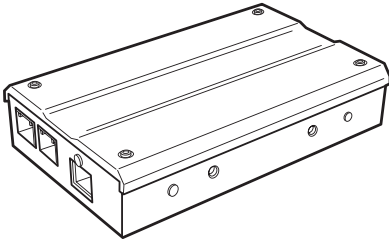
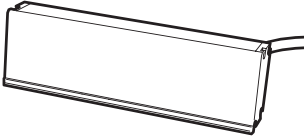

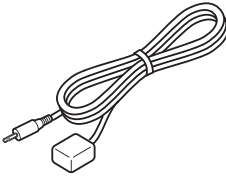
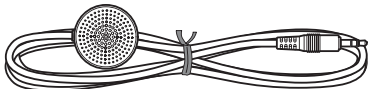
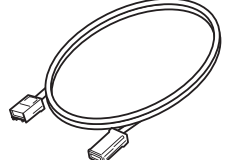
- ・ リモートポテンシャル伝送方式

### 特 徴

- ・ 高音質 D/A 変換技術により、原音に忠実で情報量の多いダイレクトなサウンドを再現
- ・ DIATONE 独自のアルゴリズムによるデジタル信号処理を行いソースが持つ本来のサウンドを再現
- ・ スピーカーからリスナーの耳に到達する音波の到達時間を補正し最適リスニングポイントを実現
- ・ リニア PCM メモリープレイヤーを搭載しメカレスで CD プレーヤー以上の高音質を実現



構成品

<p>デジタルプロセスセンター メインユニット</p> 	<p>メモリープレーヤー内蔵サテライトユニット</p> 
<p>ディスプレイユニット</p> 	<p>コンパクトリモコン</p> 
<p>リモコン受光部</p>  × 2	<p>スピーカー</p> 
<p>USB 変換ケーブル</p>  × 2	

**クイック INDEX**

リモコンについて	12
電池を入れる	14
リモコン受光部について	12,13
ディスプレイユニットについて	12
電源を ON/OFF する	15
ボリュームを調整する	16
ソースを切り換える	17
音質等を調整する	19 ~ 32
USB メモリーを再生する	33
曲送り・曲戻し	34
Repeat	35
使用できる USB メモリーについて	36
再生できる音楽ファイルについて	36
フォルダについて	37

**目次**

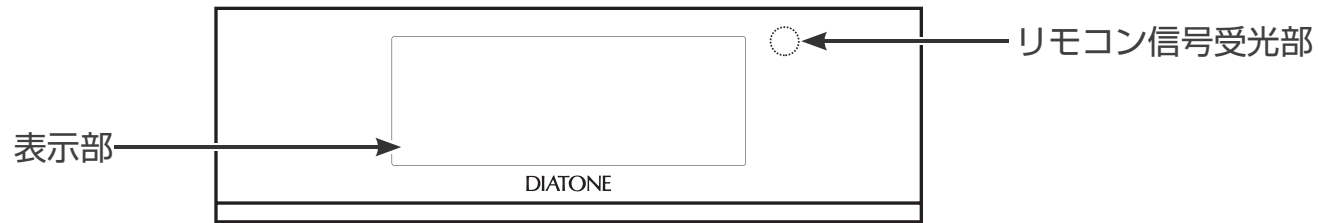
免責事項について.....	2
使用上のご注意.....	3
商標について .....	4
お客様へ安全上のご注意 .....	5
<b>はじめに</b>	
DIATONE DA-PX1 .....	7
<b>目次 / 索引</b>	
クイック INDEX .....	9
目次.....	10
索引.....	11
<b>操作説明</b>	
ディスプレイユニットについて.....	12
コンパクトリモコンについて .....	12
リモコン受光部について .....	13
スピーカーについて.....	13
USB メモリーを挿入する.....	13
コンパクトリモコンに乾電池を入れる .....	14
コンパクトリモコンの乾電池を取り出す .....	14
電源を ON する / 電源を OFF する.....	15
Volume (ボリューム) 画面について .....	16
ソース切り換えについて .....	17
Sound Setting (音響設定) 画面について .....	19

<b>設定項目の選択について .....</b>	<b>20</b>
Balance.....	21
HQ Tone .....	22
Surround.....	24
Real Base .....	25
Real Bit.....	26
Preset .....	27
D/A Filter .....	28
Time Correcter.....	29
Beep Vol.....	31
Status .....	32
<b>USB メモリー再生について .....</b>	<b>33</b>
曲送り・曲戻し.....	34
Repeat .....	35
使用できる USB メモリーについて.....	36
再生できる音楽ファイルについて.....	36
フォルダの構成について .....	37
<b>WAV とは .....</b>	<b>38</b>
<b>MP3 とは .....</b>	<b>39</b>
<b>WMA とは .....</b>	<b>40</b>
<b>AAC とは .....</b>	<b>41</b>
<b>用語説明・付録</b>	
用語説明 .....	42
故障かな?と思ったら .....	44
<b>定格 / 仕様</b>	
定格 / 仕様について.....	45

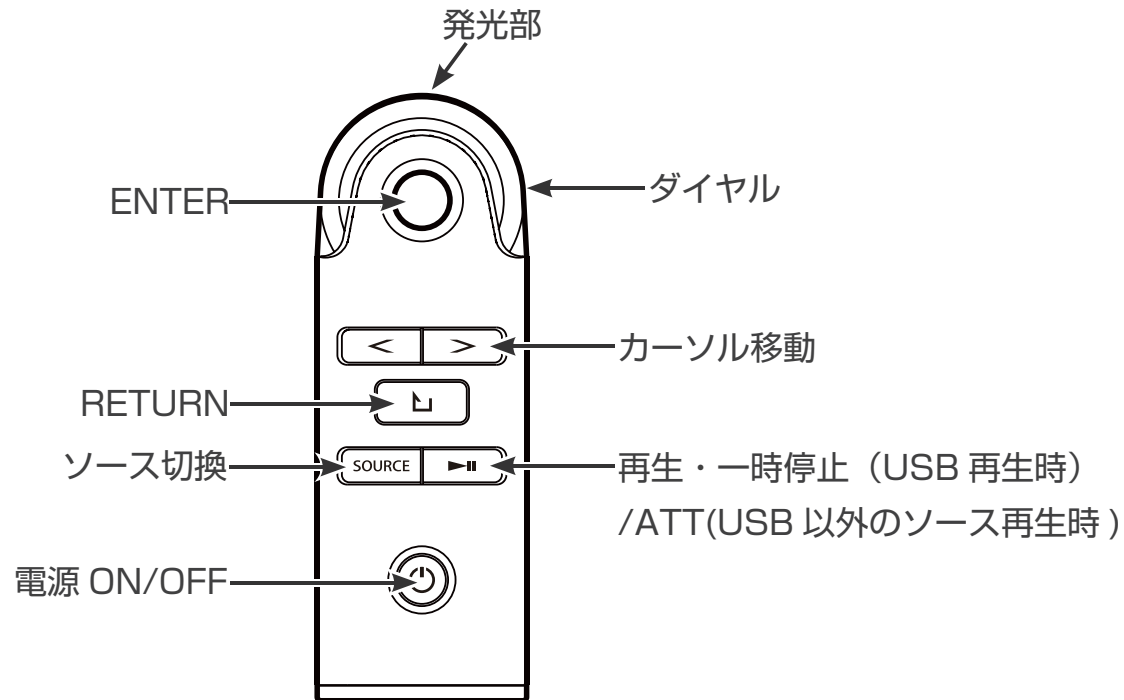
**索引**

オープニング .....	15
コンパクトリモコン .....	12
曲送り / 曲戻し .....	34
再生・一時停止 .....	33
ダイヤル .....	12
ボリューム画面 .....	16
電源 ON/OFF .....	15
Bass .....	22
Beep Vol. ....	31
DIATONE5.1ch .....	24
D/A Filter .....	28
ENTER .....	12
HQ Tone .....	22
Preset .....	27
Real Bit .....	26
Real Base .....	25
Repeat .....	35
S.Wf .....	22
Sound Setting .....	19
SOURCE .....	17
Status .....	32
Surround .....	24
Treble .....	22
USB メモリー .....	33
Wide2ch .....	24

## ディスプレイユニットについて



## コンパクトリモコンについて

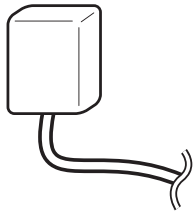


● リモコン信号の到達距離は約 1.5m です。

● リモコン信号受光部に左右 40° 以内に向けて操作してください。

The diagram shows a semi-circular receiver with a vertical dashed line in the center. Two 20-degree angles are marked on either side of the center line, indicating a total 40-degree reception range.

## リモコン受光部について



- 車種やサテライトユニットの設置位置によって取り付け位置が異なります。

## スピーカーについて

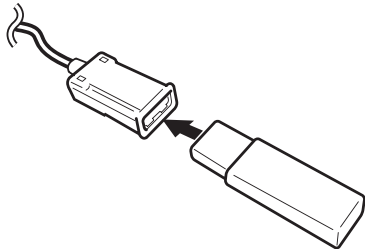
効果音を鳴らします。



- 車両の ACC が ON の場合にピンプラグの抜き差しをしないでください。異音が発生します。
- 付属のスピーカー以外は接続しないでください。機器が故障する恐れがあります。
- 車種やサテライトユニットの設置位置によって取り付け位置が異なります。

## USB メモリーを挿入する

### 1. USB メモリーを挿入する



- 車種やサテライトユニットの設置位置によって USB メモリー挿入口は取り付け位置が異なります。
- USB デバイス (メモリー, HDD 等) の動作補償はできません。
- 本機に接続中にデータ消去などが発生した場合その補償はいたしかねますのでご了承ください。
- メモリー挿入口には USB メモリー、HDD 以外の機器を接続しないでください。機器が故障する恐れがあります。
- ポータブル HDD (ハードディスク) の接続について
  - ・ HDD はデバイスにより動作しない場合があります、最悪の場合破損する恐れがあります。
- USB デバイスを高温下、直射日光の下に放置した場合、デバイスの故障、データ消去が発生する場合があります。

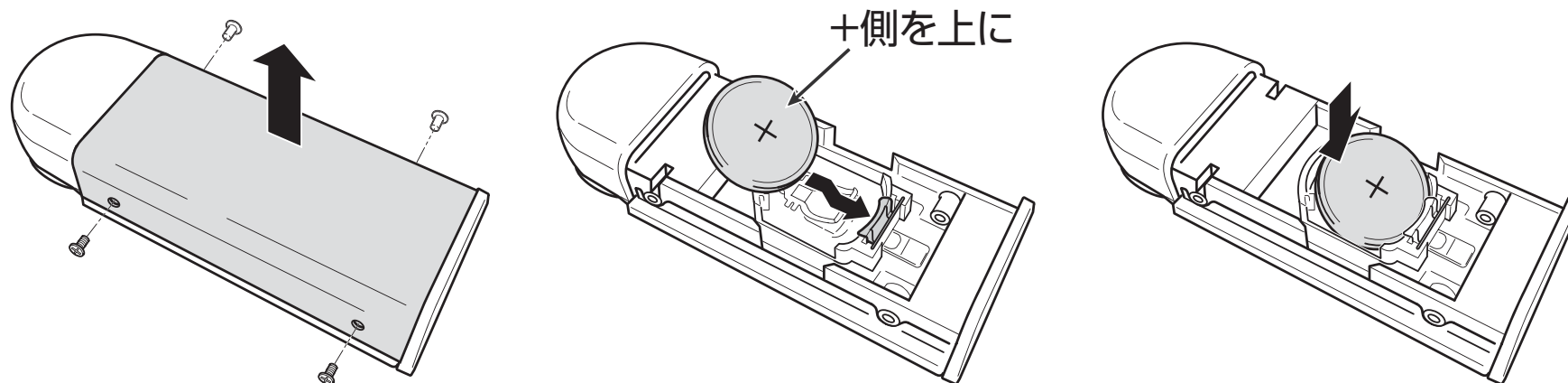
## コンパクトリモコンに乾電池を入れる

1. リモコンのネジ 4 本を外し、カバーを取り外す
2. 電池 (CR2032) を金具にあてて押し込む
3. カバーを元に戻す



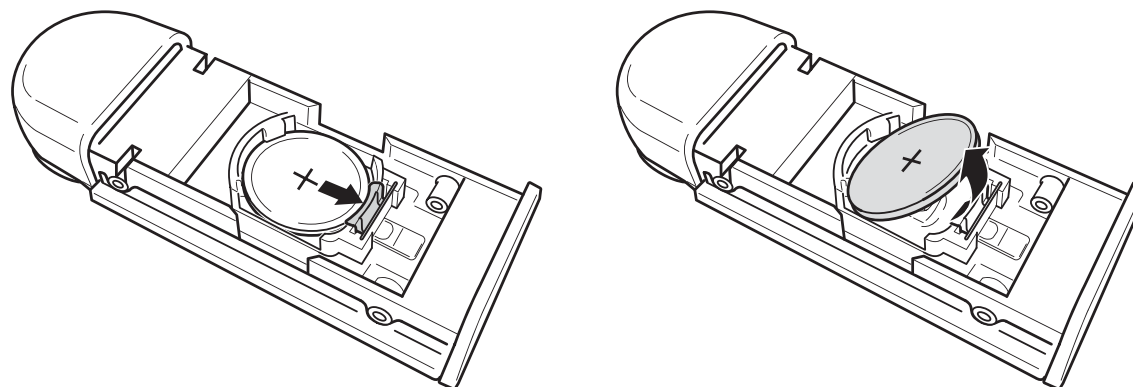
注意

電子部品に直接触れますので静電気に注意して電池の交換を行ってください。



## コンパクトリモコンの乾電池を取り出す

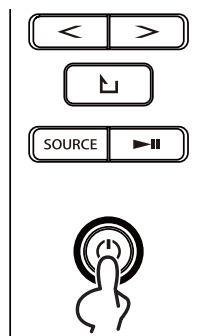
1. 金具を爪でスライドさせる  
ロックが外れると電池が浮き上がります。



## 電源を ON する / 電源を OFF する

1. 車両の ACC を ON にする

2. [◎] を押す



本機の電源が ON になり、付属スピーカーから起動音と共にオープニングが表示されます。

3. [◎] を押す

電源が OFF になります。

● 起動中は操作ができません。起動完了までしばらくお待ちください。

● 起動音のボリュームは Sound Setting の Beep Vol と連動しています。



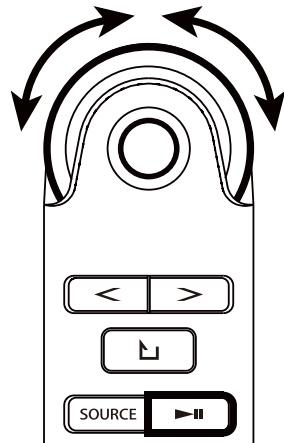
## Volume (ボリューム) 画面について

各種設定画面から戻る操作を行った場合やしばらく操作しない状態が続いた場合に Volume 画面に戻ります。(USB メモリー再生時を除く)



● 電池切れなどで操作できない場合、ミュート (消音) するにはヘッドユニット側の電源を OFF にしてください。本機へアナログで入力している場合はヘッドユニット側でボリューム調整が可能です。

### 1. [ダイヤル] を回し調節する



ボリューム値が増減します。

現在のボリューム値

●  $-\infty$ ,  $-80 \sim 0$ dB の間でボリュームを調節します。

### 2. [▶] を押す

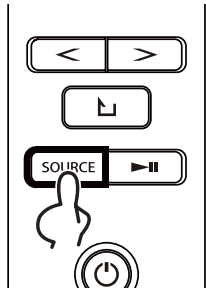
ATT 機能 (素早く音量が 20dB 下がる) が働き数値が点滅します。もう一度押すと元の音量に戻ります。また、ダイヤルを回すと ATT 機能が解除されボリューム値が増減します。(USB メモリー再生時を除く)

● USB メモリー再生時は ATT 機能は働きません。

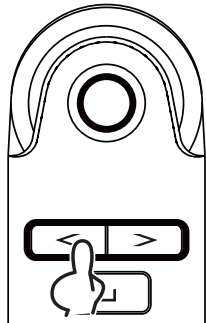
## ソース切り換えについて

ソース（入力機器）を選択します。

1. [ SOURCE ] を押す



2. [ < > ] でソースを選択する



3. [ENTER] を押し決定する

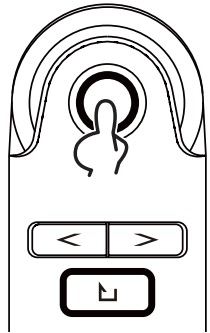


↑  
選択中のソース

## Sound Setting (音響設定) 画面について

各種サウンドの調整を行います。

### 1. Volume 画面 (USB メモリー再生画面) で [ENTER] を押す



Volume 再生画面



USB メモリー再生画面



● USB メモリー再生時に Volume 調節した場合に表示される Volume 画面からは Sound Setting 画面を表示することはできません。USB メモリー再生画面から Sound Setting 画面を表示させてください。

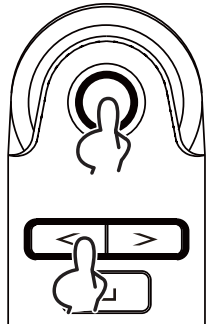
● しばらく操作しない状態が続くと Volume 画面に戻ります。USB メモリー再生時は再生画面に戻ります。

### 2. [ENTER] で Sound Setting を終了する

## 設定項目の選択について

音質などの設定項目を選択します。

1. [ < > ] で設定内容を選択し [ENTER] で決定する



カーソル

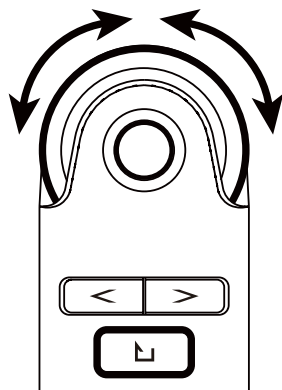
選ばれている項目の下にはカーソルがあり文字が大きくなります。

## Balance

左右スピーカーのバランスを調整します。



### 1. [ダイヤル] を回し調整する



バランス値が増減します。

### 2. 調整後 [ ] で設定する

● L20 ~ R20 の間で調整することができます。設定値 0 で LR が同じ出力になります。

● しばらく操作しない状態が続くと調整値が保存され Volume 画面 (USB 再生時は USB 再生画面) に戻ります。

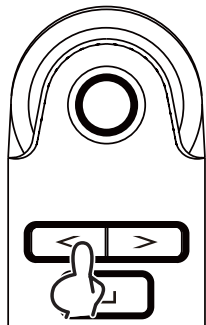
## HQ Tone

音質調整のために一時的に High Quality Mode から Adjust Mode に切り換えます。  
Adjust Mode では Bass、Treble、S.Wf の調節を行い、設定が完了すると High Quality Mode に反映されます。



● High Quality Mode から Adjust Mode もしくは Adjust Mode から High Quality Mode に切り換わる時には、消音され付属スピーカーから効果音が鳴ります。効果音のボリュームは Sound Setting の Beep Vol と連動しています。

1. [ < > ] を押し Bass、Treble、S.Wf のいずれかを選択する



2. [ダイヤル] で数値を増減させ調節する

手順 1.2 の操作を繰り返し Bass、Treble、S.Wf を調節します。

3. [  ] を押し設定を決定し終了する

設定を完了し、Adjust Mode から High Quality Mode に戻ります。



● Bass、Treble、S.Wf は -6 ~ 6 の間で調整できます。

Bass	低音の強弱を調節をします。
Treble	高音の強弱を調節をします。
S.Wf	サブウーファー出力の強弱を調節します。



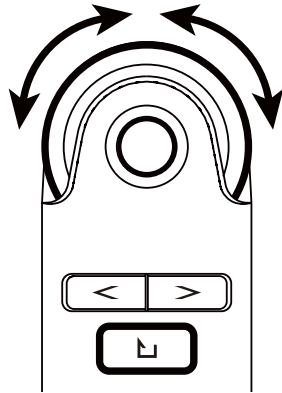
## Surround

サラウンド効果の強弱を調節します。

再生中のソースによって DIATONE5.1ch、もしくは Wide2ch が表示されます。



### 1. [ダイヤル] を回し調節する



サラウンド値 (効果) が増減します。

- それぞれ OFF ~ 10 まで調節することができ、数値が大きいほどサラウンド効果が強くかかります。
- 調整中は一時的に消音されます。

### 2. [Enter] を押し設定を決定し終了する

DIATONE5.1ch 5.1ch ソースの場合にサラウンド効果を 2ch スピーカーで再現し、効果の強弱を調整します。

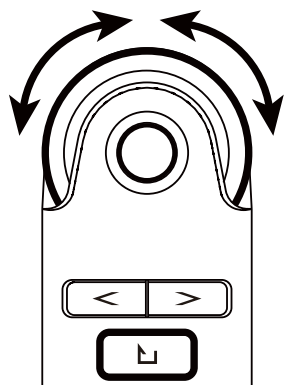
Wide2ch 2ch ソースの場合に立体的な音場感を再現し、効果の強弱を調整します。

## Real Base

原音に含まれる低音域の倍音成分を生成し迫力のある低音を再現します。



### 1. [ダイヤル]で調節する



リアルベース値が増減します。

### 2. [ ] を押し設定を決定し終了する

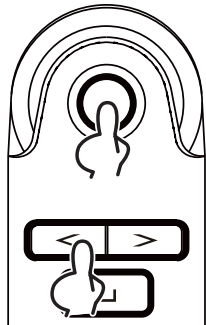
- OFF ~ 10 まで調節することができ、数値が大きいほど効果が強くかかります。
- 調整中は一時的に消音されます。

## Real Bit

CD 等の 16 ビットデジタル信号を信号処理により 24 ビットにアップコンバートします。本項目で高精度 24 ビットデジタル信号再生の OFF/ON の設定を行います。



1. [ < > ] で OFF、ON を選択し [ENTER] を押す



● OFF/ON 切り換え時は一時的に消音されます。

2. [ ◀ ] を押し設定を決定し終了する



選択中の Bit 数を表示しています

→ 24bit

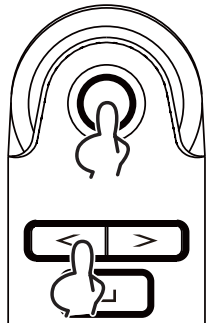
## Preset

あらかじめ登録された5つのプリセットを選択します。



● プリセット名については設定により異なる場合があります。

1. [ < > ] でプリセットを選択し [ENTER] を押す



● プリセット切り換え時は一時的に消音されます。

2. [ ◁ ] を押し設定を決定し終了する



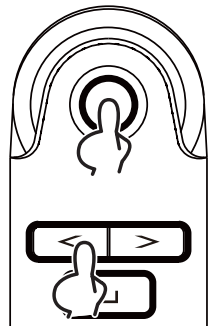
↑ 選択中のプリセット名

## D/A Filter

4種類の異なる特性を持つデジタルフィルターから音楽ソースに合わせて好みの音質を選択します。



1. [ < > ] でフィルターを選択し [ENTER] を押す



● フィルター切り換え時は一時的に消音されます。

2. [ ◁ ] を押し設定を決定し終了する

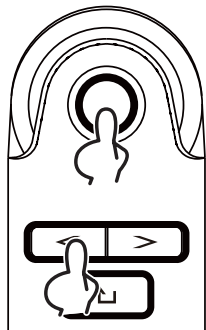
Filter 1	音の情報量が多くしかも最も音場に立体感があり、ダイレクトなサウンド表現を行います。(非対称スロー・ロールオフ型)
Filter 2	音の情報量が多くしかも音場表現力を保ちつつ、アナログ的な柔らかさも併せ持ちます。(非対称シャープ・ロールオフ型)
Filter 3	音が前に出て、しかも緻密なサウンドが楽しめます。(対称スロー・ロールオフ型)
Filter 4	従来最も使用されている標準的な特性です。(対称シャープ・ロールオフ型)

## Time Corrector

デジタル信号伝送時のクロック精度を伝送時間の遅れなく実現する事で安定感のある音を再現します。オーディオ再生、AV 再生それぞれに最適な方式を選択できます。  
 ※マルチ接続の場合は RealTime 方式のみ使用できます。



1. [ < > ] で Real Time、Memory を選択し [ENTER] を押す



● Real Time/Memory 切り換え時は一時的に消音されます。

2. [  ] を押し設定を決定し終了する

---

Real Time	AV 再生に最適な方式 ・入力系のジッターが伝播されず高音質。出力系のジッターは入力クロックと出力クロックの差に相当するデータを聴感上最もわかりにくいポイントで抽出して挿抜します。 ・時間遅れがほとんどなく映像と音声のズレが生じません。
Memory	オーディオ再生に理想的な方式 ・入出力系ジッターが伝播されず、デジタルデータの劣化がありません。 ・メモリーを経由することで時間遅れがあり映像と音声のズレを生じることがあります。

---

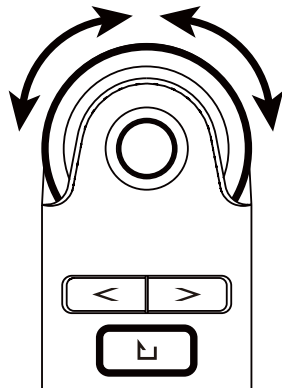
## Beep Vol

ビーブ音（操作確認音）のボリューム調節を行います。



● 起動音等のボリュームは Beep Vol に連動して調節されます。

### 1. [ダイヤル] で調節する



ビーブボリューム値が増減し、付属スピーカーから確認用のクリック音が鳴ります。

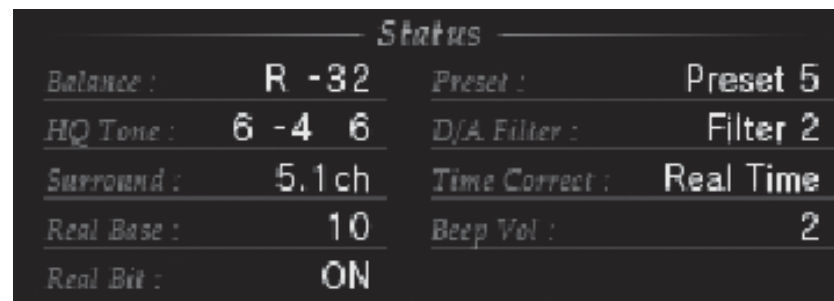
### 2. [ ] を押し設定を決定し終了する

● OFF ~ 5 まで調節することができ、数値が大きいほどビーブボリュームが大きくなります。



## Status

現在の設定状態を表示します。

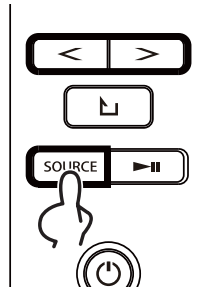


確認後 [  ] 押すと Sound Setting 画面に戻ります。

## USB メモリー再生について

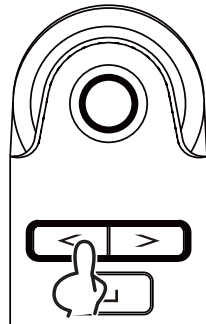
USB メモリー内の音楽ファイルを再生します。

### 1. SOURCE 画面で USB を選択する



1 階層目が表示されます。

### 2. フォルダもしくはファイルを [ < > ] で選択する



ファイル

フォルダ

### 3. [ENTER] を押す

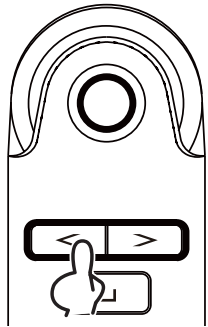
フォルダを選択した場合はフォルダ内を表示し、ファイルを選択すると再生を開始します。

- 再生中に [ > ] を押すと一時停止します。再度押すと再生を開始します。
- 以前に USB メモリーを再生していた場合はレジューム機能 (前回再生していた直後から再生する機能) が働きます。

- [ < > ] を押すと一つ上の階層に上ります。

## 曲送り・曲戻し

1. USB メモリー再生画面で [ < > ] を押す



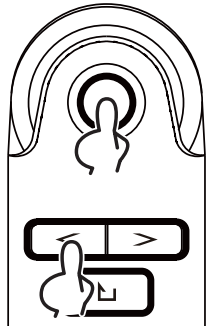
- フォルダ内のファイルを全て送ると1つ下の階層のファイルに送ります。曲戻しも同様に1つ上の階層のファイルに戻ります。
- 拡張子を除いたファイル名が表示されます。

## Repeat

USB メモリー再生時のリピート方法を設定します。



1. [ < > ] で OFF,One,ALL を選択し [ENTER] を押す



設定されると付属スピーカーよりクリック音が鳴ります。

2. [ □ ] を押し設定を決定し終了する

OFF	リピート再生を行いません。
One	1 曲リピートを行います。
ALL	全曲リピートを行います。

● クリック音のボリュームは Sound Setting の Beep Vol と連動しています。

## 使用できる USB メモリーについて

項目	内容
規格	マスストレージクラス ,MTP (Media Transfer Protocol)
バージョン	USB1.1,USB2.0
フォーマット	FAT16,FAT32
容量	256MB ~ 32GB
端子	A 端子

## 再生できる音楽ファイルについて

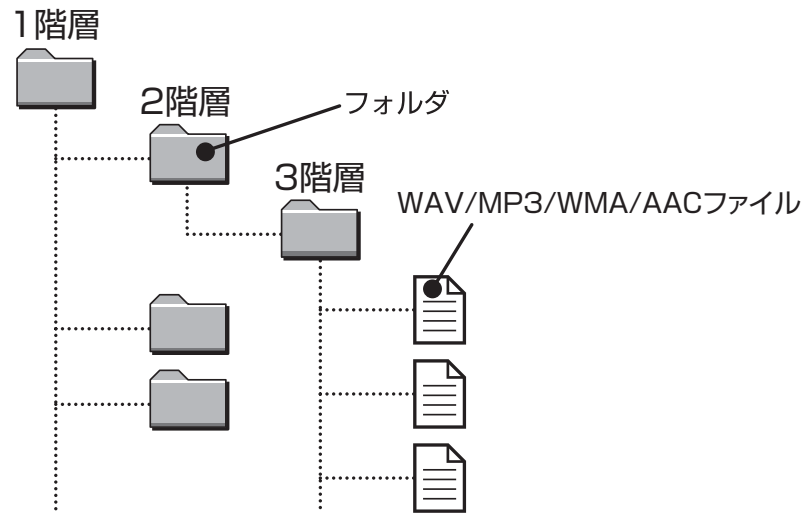
### WAV/MP3/WMA/AAC ファイルについて

USB メモリーに書き込まれた WAV/MP3/WMA/AAC 形式ファイルを再生することができます。使用できるファイルについては制限がありますので WAV/MP3/WMA/AAC 形式ファイルをメディアに書き込む前に以下の内容をよくお読みください。ID3 等の文字情報表示には対応していません。フォルダ名、ファイル名をディスプレイに表示できます。

- ※音楽 CD から書き込んだ (コピーした) ファイルを無償・有償にかかわらず他人に配る等の行為、インターネット等のサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- ※ WAV/MP3/WMA/AAC 以外のファイルに拡張子「.wav」「.mp3」「.wma」「.m4a」を付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたディスクを再生すると誤認識して再生する可能性がある為、大きな雑音が出てスピーカーを破損したり、動作が不安定になったり、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.wav」「.mp3」「.wma」「.m4a」を付けてから USB メモリーに書き込んでください。
- ・ WAV/MP3/WMA/AAC 形式ファイルが混在した USB メモリーを再生することができます。

## フォルダの構成について

フォルダは 8 階層 / 255 個、ファイルは約 500 個 (USB メモリー内合計数。WAV/MP3/WMA/AAC ファイル以外は含まず) 認識することができます。ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック (WAV/MP3/WMA/AAC ファイル) といった階層を作成して曲を管理することができます。



- フォルダ数が多いと読み込みに時間がかかったり、動作が遅くなる場合があります。
- 何もファイルの入っていないフォルダは表示されません。

## WAVとは

WAVとは「RIFF wave form Audio Format」の略称。主にWindowsで使用され、通常は非圧縮音声データです。

### 再生できるWAVの規格について

再生できるWAVファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	RIFF wave form Audio Format
サンプリング周波数 [kHz]	44.1/48
量子化ビット数 [bit]	16
ビットレート [kbps]	1411
チャンネルモード	ステレオ / モノラル
拡張子	wav
フォルダ / ファイル名最大表示文字数	全角 16 文字、半角 32 文字

※ 48kHzは44.1kHzに変換し再生します。

## MP3 とは

MP3 とは「MPEG-1AudioLayer3」の略称。

MPEG とは「Motion PicturesExpertsGroup」の略でビデオ CD などに採用されている映像圧縮規格です。

MP3 は MPEG の音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の一つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより、高音質で小さなデータ容量のファイルを作ることができます。音楽 CD の内容をほとんど音質を損なうことなく約 1/10 のデータ容量に圧縮することができる為、約 10 枚分の音楽 CD を 1 枚の CD-R/R へ書き込むことが可能になります。

### 再生できる MP3 の規格について

再生できる MP3 ファイルの仕様は以下のとおりです。

項 目	内 容
規 格	MPEG1 AUDIO LAYER3 MPEG2 AUDIO LAYER3
サンプリング周波数 [kHz]	MPEG1 : 32/44.1/48 MPEG2 : 16/22.05/24
ビットレート [kbps]	MPEG1 : 32 ~ 320 MPEG2 : 8 ~ 160
VBR(可変ビットレート)	対応
チャンネルモード	ステレオ / ジョイントステレオ / デュアルチャンネル / モノラル
拡張子	mp3
フォルダ / ファイル名最大表示文字数	全角 16 文字、半角 32 文字



## WMA とは

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。

● WMA は著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、本オーディオシステムでは著作権で保護された WMA ファイルを再生することはできません。

## 再生できる WMA の規格について

再生できる WMA ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	Windows Media Audio Version7/8/9 準拠 以下は対応外 WMA9 Professional Voice Lossless Video 有り WMA
サンプリング周波数 [kHz]	32/44.1/48
ビットレート [kbps]	48 ~ 320
VBR(可変ビットレート)	対応
チャンネルモード	ステレオ / モノラル
拡張子	wma
フォルダ / ファイル名最大表示文字数	全角 16 文字、半角 32 文字

## AAC とは

AAC とは Advanced Audio Coding の略で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3 よりも約 1.4 倍圧縮効率が高く、音質はほぼ同じです。

### 再生できる AAC ファイルの規格について

再生できる AAC ファイルの仕様は以下のとおりです。

項 目	内 容	
規 格	MPEG-4 MPEG-2	AAC LC(Low Complexity) AAC LC(Low Complexity)
サンプリング周波数 [kHz]	8/11.025/12/16/22.05/24 /32/44.1/48	
ビットレート [kbps]	8 ~ 320	
チャンネルモード	ステレオ / モノラル	
拡張子	m4a	
フォルダ / ファイル名最大表示文字数	全角 16 文字、半角 32 文字	

## **用語説明**

### **アジャスタブル FIR グラフィックイコライザー**

高精度デジタル信号処理技術です。

- ・ 調整性に優れた IIR フィルターの特性を高精度な特性が得られる FIR フィルターに自動変換する独自アルゴリズムにより調整性と高音質の両立を実現しました。

### **音楽ファイル**

本書では WAV、MP3、WMA、AAC ファイルを示しています。

### **サブウーファー**

低音域再生に特化したスピーカーです。

### **ピュアデジタル・アイソレーター**

高音質デジタル／アナログ変換技術です。

- ・ デジタル信号のジッター（時間の揺らぎ）を排除します。
- ・ デジタル信号段階から D/A に伝播されるノイズを排除します。

### **リアル・ビット**

高精度デジタル信号処理技術です。

- ・ 16ビットのデジタル信号から DIATONE 独自のアルゴリズムにより、24ビットの高精度デジタル信号を再現し、微少レベルの分解能を向上させます。

## リモートポテンシャル伝送方式

高音質機器間信号伝送技術です。

- ・ デジタルプロセスセンターからパワーアンプへの信号伝送時に混入する車両からのノイズを排除することにより、クリーンでクリアな音質を再現します。

## 量子化ビット数

アナログからデジタル信号へ変換する際に何段階の数値で表現するかを示す値です。値が大きいほど段階が多くなり、角の取れたアナログ信号に近いデジタル信号が得られます。

## 32Bit アドバンスド・ピュアバリアブルカレント・DA コンバーター

高音質デジタル / アナログ変換技術です。

- ・ デジタルノイズのアナログ系への混入を徹底排除します。
- ・ ボリューム回路を用いずに D/A の出力を直接絞って音量制御します。しかも微小音量でもデジタルボリュームのようなビット欠落がありません。
- ・ D/A 電流を増幅回路を用いずにパッシブ回路のみで電圧変換、極めて鮮度が高く、情報量の多いサウンドを再現します。

## USB メモリー

USB ポートへ接続するフラッシュメモリー

## 故障かな?と思ったら

以下の記載の処理を行っても症状が改善されない場合は販売店にご相談ください。

症 状	原 因	処 理
音が鳴らない	ボリュームが - ∞ になっている	ボリュームを上げてください。
	dB 表示が点滅し ATT 機能が働いている	ATT 機能を解除してください。
	本機が読めるファイルフォーマットになっていない	本機が対応するファイルフォーマットで作成したデータを使用してください。
	ソースを正しく選択していない	接続されたソースへ切り換えてください。
	アナログ接続の場合、ヘッドユニットのボリューム調整が適正でない	ヘッドユニットのボリュームを調節してください。
音が小さい	dB 表示が点滅し ATT 機能が働いている	ATT 機能を解除してください。
ディスプレイが表示しない	電源が OFF になっている	電源を ON にしてください。
リモコンがきかない	電池残量が十分でない	新しい電池に交換してください。
操作音が鳴らない	Beep 音設定が 0 になっている	Beep 音設定を 1 以上に設定してください。
USB メモリーが認識しない	USB メモリーの規格が合っていない	本機が対応する USB メモリーを使用してください。
	USB メモリーのフォーマットが誤っている	FAT16, FAT32 でフォーマットしてください。
USB メモリーが再生できない	ファイルの規格が誤っている	本機が対応するファイル規格を使用してください。
	USB メモリーを認識していない	USB メモリーを抜き差ししてください。
USB メモリーのタイトル情報がファイル名やフォルダ名しか表示されない	—	本機は ID3 等の Tag 情報を表示することができません。ファイルやフォルダを分かりやすい名前に変更してください。

## 定格 / 仕様について

### 本体部

項目		仕様	
DSP 部	イコライザー	共通パラメトリックイコライザー	5 素子 (− 40 ~ +20dB) 20Hz ~ 20kHz (0.01Hz 単位) Q ( 0.01 単位) Gain (0.01dB 単位)
		個別パラメトリックイコライザー	5 素子 (− 40 ~ +20dB) 20Hz ~ 20kHz (0.01Hz 単位) Q ( 0.01 単位) Gain (0.01dB 単位)
	マルチウェイ・ タイムアライメント	クロスオーバー周波数	4WAY max 20Hz ~ 20kHz (0.01Hz 単位)
		タイムアライメント遅延時間	各帯域 0 ~ 20ms (6.8m 相当)、0.02ms (0.77cm 相当) 単位
	マルチアンプ駆動	クロスオーバー周波数	4WAY max 20 ~ 20kHz (0.01Hz 単位) − 6dB / oct ~ − 72dB / oct (6dB 単位) Q(0.01 単位)
		タイムアライメント遅延時間	各帯域 0 ~ 20ms (6.8m 相当)、0.02ms (0.77cm 相当) 単位
	サブウーファー	パラメトリックイコライザー	5 素子 (− 40 ~ +20dB) 20Hz ~ 20kHz (0.01Hz) Q (0.01 単位) Gain (0.01dB 単位)
		ハイカットフィルター	20Hz ~ 20kHz (0.01Hz 単位、デジタル) 150Hz − 18dB / oct (アナログ) − 6dB / oct ~ − 72dB / oct (6dB 単位) Q (0.01 単位)
		サブソニックフィルター	20 ~ 100Hz (0.01Hz 単位) − 6dB / oct ~ − 72dB / oct (6dB 単位) Q (0.01 単位)
		タイムアライメント遅延時間	0 ~ 20ms (6.8m 相当)、0.02ms (0.77cm 相当) 単位
RCA 出力部	周波数特性	20Hz ~ 20kHz	
	最大出力	1.8Vrms	
入出力 端子	音声入力	デジタル 5 系統 (光 3 系統、車載光 1 系統、同軸 1 系統) アナログ 2 系統 (RCA、スピーカー出力)	
	音声出力	メイン出力 RCA 1 系統 (L・R) サブウーファー専用 RCA 1 系統 (L・R または L+R)	
共通部	最大消費電流	2A	
	使用電源	DC14.4V	
	ヒューズ	5A	
	外形寸法	(W) 360 mm × (H) 54.5 mm × (D) 221 mm	
	質量	2.9kg	

## サテライトユニット

項目	仕様
入力端子	USB 2 系統 対応フォーマット リニア PCM : WAV 圧縮 : MP3・WMA・AAC
外形寸法	外形寸法 (W) 160 mm × (H) 35 mm × (D) 101mm
質量	0.7 kg

## ディスプレイユニット

項目	仕様
表示部	TFT 液晶
外形寸法	(W) 150 mm × (H) 45.4 mm × (D) 28.1 mm
質量	0.3 kg

## コンパクトリモコン

項目	仕様
外形寸法	(W) 28 mm × (H) 19.2 mm × (D) 80.9 mm
質量	40 g

※ 本機は非常にシンプルな操作方法となっております。より細やかな設定（タイムアライメントやクロスオーバー、イコライザーカーブ等）は PC 上で専用アプリケーションを使用してセッティングします。  
本機を車両にインストール後、設定を変更する場合は購入された販売店にご相談ください。

***MEMO***





***MEMO***

